

2020年12月6日(日)朝10:10

降誕前第3、自由交歓会等

12月第1聖餐総員共同主日礼拝式説教

日本アライアンス庄原基督教会

## 説教題：**変貌の栄光の主と天の声**(2、5～)

聖書:マタイ 17章1～8節

<口語訳>

新約聖書27～ 頁

マタイ 17章1～8節

<新共同訳>

新約聖書32～33頁

マタイ 17章1～8節

<新改訳第3版>

新約聖書33～34頁

マタイ 17章1～8節

<塚本訳>

新約聖書119～ 頁

主題:主イエス様から賜った聖霊の導き

によって主の弟子たちは、主の名による  
神の罪からの救いを宣べ伝えたように、  
私たちも、福音を伝えたい。

序論；

- ◇**マタイ書**は、使徒**マタイ**が、ユダヤ人の立場で**王なる救い主(メシヤ)**なる**神の御子イエス・キリスト**を証言した記録です。
- ◇**マタイ5～7章**は、**神の御子イエス・キリスト様**の山上の垂訓・説教と表現される箇所です。
- ◇本日は、**マタイ17:1～8節**の「**変貌の栄光の主と天の声(2,5～)**」の箇所から、「**神(天)の国**」(「**神の真理・真実**」)の隠された奥義を心にとめたいと思います。
- ⇒「**御子イエス・キリスト様**」は、高い山に弟子たち3人と登り、栄光の輝きを持った御姿を見せて下さいました。
- ⇒主が**変貌**してくださったのは、弟子たちに主の真の姿を見せ、弟子たちに**神信仰の確信**を持たせるためでした。
- ⇒「**変貌**」は、別人格に変身することではなく、人となって下さった主の本質的姿・**神の御子の御姿**を見せて、弟子たちに主にお従いして大丈夫であると確信させるためでした。
- ⇒教会は、「**変貌の主**」への信仰の土台の上に建てられるのです。

⇒エペソ2:20<口語訳>;

20 またあなたがたは、使徒たちや預言者たちという土台の上に建てられたものであって、キリスト・イエスご自身が隅のかしら石である。

◇**マタイ17:1～8節**; ペテロらは、「**変貌**」の主を現れを目にして、ひれ伏し、主とモーセとエリヤのために、小屋を3つ建てましょうと提案しますが、その言葉が終わらぬうちに、「これはわたしの『最愛の子、』『わたしの心になつた。』『彼の言うことを聞け』」との光る雲の中からの声を聞きます。

⇒弟子たちは、恐れてひれ伏しますが、主は、近寄り、手で触って、「起きよ、恐れることはない」と、語られ、目を見上げると、主おひとりであるのに気づきました。

◇本日は**17:1～8節**の「**あなたは生ける 神の子キリストです(16～)**」の箇所から、「**神(天)の国**」(「**神の真理・真実**」)の隠された奥義を心にとめたいと思います。

⇒「**あなたは生ける神の子キリストです(16～)**」は、主の弟子、ペテロの信仰告白で、同時に今日の教会の信仰告白となっている大事なものです。

⇒ローマ・カトリック教会では、教皇(法王)が、ペテロの後継者としますが、新教では、ペテロが、弟子たちを代表して告白したものとして、教会の告白としています。

⇒ピリポ・カイザリヤに赴かれた時、主が弟子たちに、「世間の人には人の子(わたし)のことをなんと知っているか」問われ、弟子のペテロが、信仰告白したものです。

本論；

◇本日、**マタイ書17:1～8節**から主の**使信**に**思い・心**νοῦς(nouj)をとめます。

◆**マタイ17章1～8節**；使徒**マタイ**は、「**変貌の栄光の主と天の声(2,5～)**」との主のみことばを通して、「**神(天)の国**」の隠されてい

る「**神の真理・真実**」を示しています。

◇17:1～8節;塚本訳◆姿が変わる

- 「1 (それから)六日の後、イエスはペテロとヤコブとその兄弟のヨハネだけを連れて、高い山にのぼられた。
- 2 すると彼らの見ている前でイエスの姿が変わった。顔は太陽のように照りかがやき、着物(まで)が光のように白くなった。
- 3 すると見よ、モーセとエリヤとが彼らに現われた。二人はイエスと話していた。
- 4 ペテロが口を出してイエスに言った、「主よ、わたし達(三人)がここにいるのは、とても良いと思います。もしよろしければ、わたしはここに小屋を三つ造りましょう。あなたに一つ、モーセに一つ、エリヤに一つ。」
- 5 ペテロの言葉がまだ終らぬうちに、見よ、光る雲が彼ら(イエスとモーセとエリヤと)を掩い、そのとき、「これはわたしの『最愛の子、』『わたしの心になつた。』『彼の言うことを聞け』』と言う声が雲の中から出た。
- 6 これを聞くと弟子たちは地にひれ伏して、非常に恐ろしくなった。

- 7 イエスは近寄り、彼らにさわって言われた、「起きよ、恐れることはない。」
- 8 目を上げると(そこには)だれも見えず、ただイエスだけがおられた。

⇒**マタイ17:1~2節**は、「**御子イエス・キリスト様**」の「**変貌**」が示されています。「**変貌**」によって、主の受難と栄光を示し、弟子たちを訓練なさることが、目的でした。

⇒主は、「**変貌**」によって、受難を自発的に負い、**父なる神**の栄光をほめたたえるためでした。

⇒「顔は太陽のように照りかがやき、着物(まで)が光のように白くなった」と、「**変貌**」のお姿を示されましたが、「**神(天)の国**」(「**神の真理・真実**」)での主の姿であり、弟子たちをはじめ、主にお従いし、主を讃美する者の与る栄光の姿でもありました。

⇒「太陽」も、「雲」も、**神のご臨在**を現すもので、栄光の主が、ともにいて下さることを示して下さったのです。「**変貌**」の主を雲は包み、主の着物は、光のように白くなったのです。

⇒私たちも、全く同じではありませんが、栄光に輝く着物を着せていただく時が来るのです。

◇**マタイ17:3～5節**は、栄光に輝く主とともに、モーセとエリヤが現れ、主と会話しています。モーセは、律法を代表し、エリヤは、預言者を代表し、旧約の**神のことば**が主のおいて実現したことを示しました。話の中身は、分かりませんが、主の受難と復活を示す会話であったと思われます。

⇒ペテロは、この主の「**変貌**」と「モーセとエリヤ」の現われに感動して、小屋3つを建てる提案をしますが、まだ提案をしているうちに、光る雲が、主とモーセをエリヤを掩い、「これはわたしの『最愛の子、』『わたしの心になつた。』『彼の言うことを聞け』』と言う声が雲の中から出たのです。

⇒主が、ペテロの提案を拒否されたのではなく、何が優先されるかを示されたのです。小屋建築よりも、主の声・みことばを聴くことが、大事だったので、主のみことばを聴く模範者を見せてくださったのです。

⇒今も、それは同じで、教会は、建物や組織、宣教戦略よりも、主に聴くことが優先されるのです。主に聴くことからすべきが示されます。

◇**マタイ17:6～8節**は、畏れの心からひれ伏す弟子たちに近寄り、彼らにさわって、「起きよ、恐れることはない」と、主は語られ、目を上げると(そこには)だれも見えず、ただイエスだけがおられたのです。

⇒主の「**変貌**」は、受難のしもべ(イザヤ53章)のお姿でした。「**変貌**」は、ピリピ2:6～7で、人間の姿になられた「かたち」と、訳されていますが、本質が**神のしもべ**なのです。姿は、外面だけでなく、本質的内面内実も、「**変貌**」されたのです。ペテロらは、その目撃証言者で、驚いをもってひれ伏したのです。

⇒ヨハネ10:17～18;【口語訳】

17 父は、わたしが自分の命を捨てるから、わたしを愛して下さるのである。命を捨てるのは、それを再び得るためである。

18 だれかが、わたしからそれを取り去るのではない。わたしが、自分からそれを捨てるのである。わたしには、それを捨てる力があり、またそれを受け取る力もある。これはわたしの父から授かった定めである」。

⇒主は、自ら十字架を背負われました。



⇒ペテロは、「**変貌**」で本来の姿をとられた主の姿のままでいてほしと願ったのですが、モーセとエリヤの姿は消え、貧しいままの主だけが、目の前にあったのです。

⇒ペテロが、主のご意図を知らながら、栄光の姿のままでいてほしいと願ったのは、自らの願望を優先した過ぎず、主は、その罪のため、十字架の死を貧しいしもべとして選んで下さったのです。

⇒Ⅱ ペテロ1:16～18;【口語訳】

16 わたしたちの主イエス・キリストの力と来臨とを、あなたがたに知らせた時、わたしたちは、巧みな作り話を用いることはしなかった。わたしたちが、そのご威光の目撃者なのだからである。

17 イエスは父なる神からほまれと栄光とをお受けになったが、その時、おごそかな栄光の中から次のようなみ声がかかったのである、「これはわたしの愛する子、わたしの心にかなう者である」。

18 わたしたちもイエスと共に聖なる山にいて、天から出たこの声を聞いたのである。

結論；

◇神は、変わらない愛と思いやりの神です。

◇マタイ書は、使徒マタイが、ユダヤ人の立場で王なる救い主(メシヤ)なる神の御子イエス・キリストを証言した記録です。

◇マタイ5～7章は、神の御子イエス・キリスト様の山上の垂訓(説教)の箇所です。

◇本日は、**マタイ17:1～8節**の「**変貌の栄光の主と天の声**(2,5～)」の箇所から、「**神(天)の国**」(「**神の真理・真実**」)の隠された奥義を心にとめたいと思います。

⇒「**御子イエス・キリスト様**」は、高い山に弟子たち3人と登り、栄光の輝きを持った御姿を見せて下さいました。

⇒主が**変貌**してくださったのは、弟子たちに主の真の姿を見せ、弟子たちに**神信仰の確信**を持たせるためでした。

⇒「**変貌**」は、別人格に変身することではなく、人となって下さった主の本質的姿・**神の御子の御姿**を見せて、弟子たちに主にお従いして大丈夫であると確信させるためでした。

⇒教会は、「**変貌の主**」への信仰の土台の上に建てられるのです。

⇒エペソ2:20<口語訳>;

20 またあなたがたは、使徒たちや預言者たちという土台の上に建てられたものであって、キリスト・イエスご自身が隅のかしら石である。

⇒Ⅱコリント3:18【口語訳】

18 わたしたちはみな、顔おおいなしに、主の栄光を鏡に映すように見つつ、栄光から栄光へと、主と同じ姿に変えられていく。これは霊なる主の働きによるのである。

⇒日々、主のみことばから主の声を聴き、ペテロの犯した過ちを思い、自分の願い優先ではなく、主の思いを先ず聴いて祈り深く歩ませてくださいたいと願います。